

激動の時代

時代の先を読み、強い志で夢を追いかけた一人の男がいた…。



新時代を拓く

～藤井能三の近代遠望～



第18回
全国地域映像コンクール

受賞 審査員特別賞

郷土学習教材〔映像作品 38分18秒〕

- DVD
- BD
- インターネット動画

<https://www4.tkc.pref.toyama.jp/video/>



監修：米原 寛（越中史壇会 会長）
ナレーション：久和 恵実
車 吉章（ま～る）
音楽：柴 徳昭

2020（令和2）年制作

制作：富山県教育委員会
富山県映像センター

（富山県民生涯学習カレッジ 映像センター課）
TEL 076-441-8455/FAX 076-441-5334

創造のよろこび



新時代を拓く

～藤井能三の近代遠望～

第1章 能三の決意

古くから天然の良港に恵まれた伏木。その伏木で生まれ育った能三は、神戸出張を機に大きな理想を抱き、富山の近代化を心に誓う。



第2章 能三動く ～伏木港築港に向けて～

富山に戻った能三は、人材育成・港づくりに動き出す。自らの事業は失敗するも「伏木築港論」を発表。粘り強く築港運動を続ける。



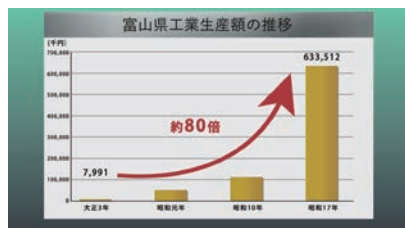
第3章 能三の悲願 ～産業変革の足がかり～

築港運動が実り、大型汽船の入港が可能となった伏木港。明治末期、港湾整備とともに水力発電、化学工場の進出など産業の近代化に向けて大きな動きが起こる。



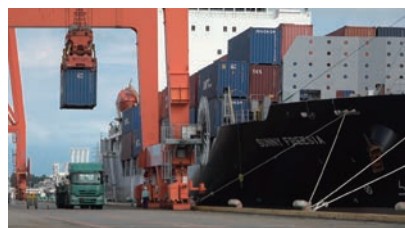
第4章 能三のバトンを受けて ～工業立県へ～

能三亡き後、県知事らが意志を引き継ぎ、富山県は工業県に発展していく。貨物の取扱量の増加により、新たに富山新港が建設される。

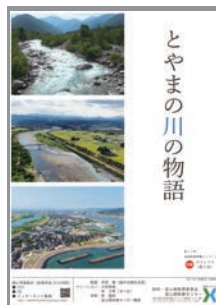


第5章 能三が描いた理想 ～現在、未来の伏木富山港～

日本海側有数の港に発展した伏木富山港。「シベリア・ランド・ブリッジ」は、能三の「伏木築港論」と重なるものであり、新しい輸送方式として大きく期待されている。



DVD・BDを貸出中
インターネット公開中



2019 (令和元) 年制作

第17回
全国地域映像コンクール

受賞 グランプリ
(第1位)

とやまの叟山

“世界の宝”を守り続ける



2018 (平成30) 年制作

第16回
全国地域映像コンクール

受賞 グランプリ
(第1位)

表面画像 国土交通省北陸地方整備局伏木富山港湾事務所提供・高岡市立博物館提供(藤井能三)・高岡市立伏木図書館蔵(伏木築港論)
裏面画像 第1章: 神戸市立博物館蔵 第2章: 高岡市市長政策部提供 第3章: 高岡市蔵(高岡市立博物館提供)

富山県映像センター

(富山県民生涯学習カレッジ 映像センター課)

〒930-0096 富山県富山市舟橋北町7-1 富山県教育文化会館3階

TEL 076-441-8455/FAX 076-441-5334

<https://www4.tkc.pref.toyama.jp/eizou/>

